

ポテトサラダ原材料に
抵抗性品種を採用

デリア食品

キユーピーグループの
デリア食品は、主力商品
のポテトサラダの原材料
に、ジャガイモの抵抗性
品種「ゆめいづろ」を採用
する一事を発表した。今
月から静岡県を中心とし
た中部地区で試験販売を
開始し、2030年を目
標に同社が使用するすべ
てのジャガイモを、抵抗
性品種に切替えていく。

「ゆめいづろ」は、ジャ
ガイモ生産現場の脅威と
なっている、病害虫ジヤ
ガイモシストセンチユウ
への抵抗性を備えた新品
種。「男爵」と同様の美味
しさを持ちながら、しつ
とろした食感で崩れにく
く、ポテトサラダなどの
調理に適す。表面の凸凹
が少なく目が浅いため、
加工しやすい点も特長。

まずは今年3月まで、
静鉄ストアや青果卸の静
岡V.F、仲卸の三和新静
と連携し、総菜売場で「ゆ
めいづろ」使用のポテト
サラダを販売。青果売場
では原体も取扱い、消費
拡大と認知向上を図る。